

保護者の皆様

令和6年10月4日

川崎市立麻生中学校  
校長 金子 三弘

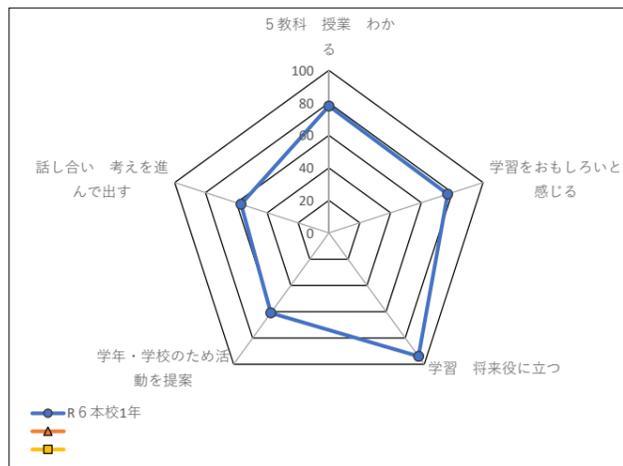
### 令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（金）に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標である「自主自律」を踏まえ、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

#### 学校教育目標 自主自律

- 健康で明るい人
- 思いやりのある人
- 創造性豊かな人
- 国際性に富む人

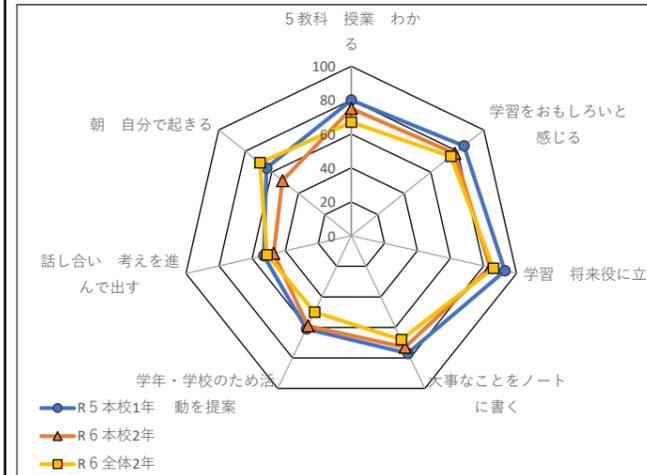
### 令和6年度 川崎市学習状況調査 1年生



	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	5教科 主体的
R6本校1年	62	73	80
R6全体1年	55	70	76

- ・「5教科 わかる」は78ポイントでした。毎時間の学習のねらいを明確にし、振り返りやまとめをしっかり行うことで、「わかる実感」を得られるように学習内容の定着を図ります。
- ・「5教科 思考・判断・表現」の平均正答率は62ポイントでした。各教科で分かったことや考えたことを文章で表現したり発表したりする機会を設けていきます。
- ・「5教科 主体的に学習に取り組む態度」の平均は80ポイントでした。また、「学習をおもしろいと感じる」「学習した知識は将来役に立つ」と回答した生徒はそれぞれ77ポイント、94ポイントでした。日常生活とのつながりを意識しながら、各教科で学習の有用性をより実感できるような授業を目指し、学校教育目標である「自主自律」をもとに、自らより深い学びへとつなげていけるような授業を目指していきます。
- ・「学年・学校のためになる活動を提案する」「話し合いのとき考えを進んで出している」と回答した生徒はそれぞれ61ポイント、57ポイントでした。授業や学年・学校行事などで、グループ活動が特定の生徒だけで進められてしまうことがないように留意し、全員が自らの考えを発信できるような機会を充実させていきます。

### 令和6年度 川崎市学習状況調査 2年生



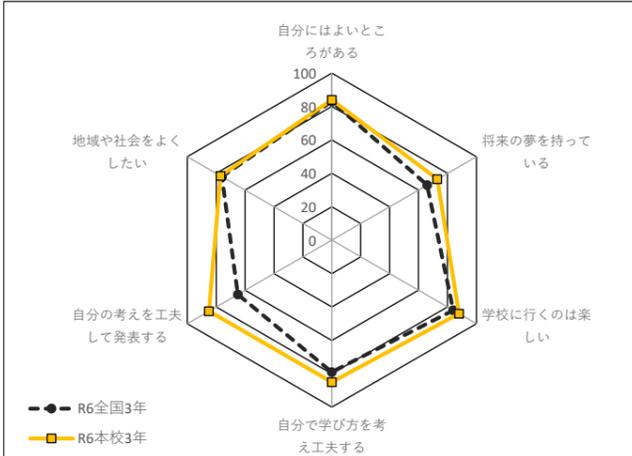
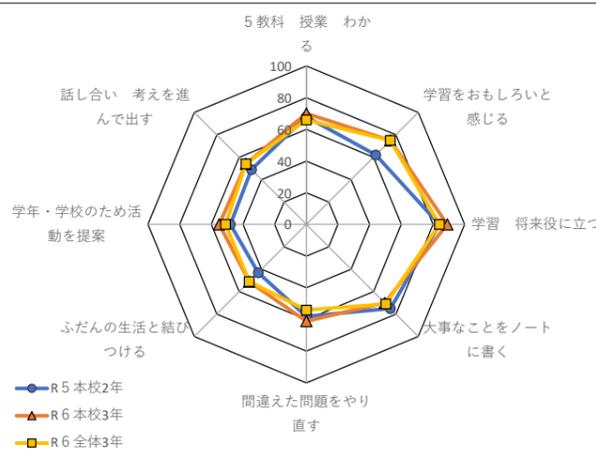
	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	5教科 主体的
R5本校1年	62	75	79
R6本校2年	58	70	77
R6全体2年	45	60	71

- ・「5教科 わかる」は75ポイントでした。また、「学習をおもしろいと感じる」と回答した生徒は78ポイントでした。参加自治体全体の数値を上回ってはいますが、小学校から中学校に進学し、学習内容が難しくなっていると感じている生徒が相当数いることが考えられます。日常生活とのつながりを意識しながら、よりわかりやすい授業づくりを目指していきます。
- ・「学習した知識は将来役に立つ」と回答した生徒は84ポイントで、参加自治体全体の数値を下回りました。高校進学など目の目標ばかりではなく、変化の激しいこれからの社会に柔軟に対応できるような思考力、判断力を涵養しながら、各教科の学習の有用性をより実感できるような授業づくりを目指していきます。
- ・「5教科 主体的に学習に取り組む態度」の平均は77ポイントでした。学習への主体性は、上記「学習をおもしろいと感じる」や「学習した知識は将来役に立つ」とも関連するため、振り返りをしっかりと行い、学校教育目標である「自主自律」をもとに、自らより深い学びへとつなげていけるような授業を目指していきます。
- ・「黒板に書かれていないことでも大事なことはノートに書きとめている」と回答した生徒は73ポイントでした。黒板を写すだけでなく、分かったことを自分なりに工夫してまとめたり、自分の言葉で説明したりする力を伸ばせるような機会を充実させていきます。
- ・「学年・学校のためになる活動を提案する」「話し合いのとき考えを進んで出している」と回答した生徒はそれぞれ59ポイント、47ポイントでした。授業や学年・学校行事などで、グループ活動が特定の生徒だけで進められてしまうことがないように留意し、全員が自らの考えを発信できるような機会を充実させていきます。
- ・「朝、起こされなくても自分で起きる」と回答した生徒は52ポイントで、昨年度調査や参加自治体全体の結果を大きく下回りました。規則正しい生活習慣を心掛け、朝時間に余裕をもって登校することができるよう、学校と家庭で連携し、働きかけていくことが不可欠であると考えます。

裏面に3年生の結果について掲載しています。

令和6年度 川崎市学習状況調査 3年生

全国学力・学習状況調査 3年生



	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	5教科 主体的
R5本校2年	59	69	76
R6本校3年	65	67	82
R6全体3年	50	53	73

- ・「5教科 わかる」は70ポイントでした。また、「5教科 思考・判断・表現」「5教科 知識・技能」の平均正答率はそれぞれ65ポイント、67ポイントでした。今後も各教科で「わかる」と感じられる授業を心がけ、知識や技能、思考力や表現力の育成に努めていきます。
- ・「学習をおもしろいと感じる」「学習した知識は将来役に立つ」と回答した生徒はそれぞれ75ポイント、89ポイントで、昨年度（2年時）調査をそれぞれ13ポイント、5ポイント上回りました。また、「5教科 主体的に学習に取り組む態度」の平均は82ポイントで、昨年度調査を6ポイント上回りました。本校生徒が2年時から3年時にかけて学習に熱心に取り組み、大きく力を伸ばす傾向と相関があるように思われます。キャリア在り方生き方教育をより充実させ、一人一人の生徒が将来の目標やより充実した生き方の実現に向けて、自ら主体的に学習に取り組むことができるよう、引き続きサポートしていきます。
- ・「黒板に書かれていないことでも大事なことはノートに書きとめている」と回答した生徒は70ポイントで、昨年度調査を5ポイント下回りました。授業でGIGA端末を扱う場面が増え、以前よりもノートに書く場面が少なくなっていますが、ワークシートにメモ欄を設け、自らの判断でメモをとったり、分かったことを自分の言葉で説明したりする力を伸ばせるような機会を充実させていきます。
- ・「テストで間違えた問題はもう一度やり直している」と回答した生徒は61ポイントで、昨年度調査を3ポイント上回りました。テストが終わった後で、分からなかったり間違えたりした問題をやり直したり、振り返ったりする場면을授業の中で設け、テストの結果だけで満足して終わることがないように、引き続き指導していきます。
- ・「授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている」と回答した生徒は51ポイントでした。昨年度調査や参加自治体全体を上回る結果とはなっていますが、各教科で「学びの有用性」をより実感できるよう、授業改善に努めていきます。
- ・「学年・学校のためになる活動を提案する」「話し合いのとき考えを進んで出している」と回答した生徒は、それぞれ55ポイント、54ポイントで、昨年度から学級力が向上した成果が現れています。引き続き、学級や学年全体の向上を目指していきます。
- ・全国学力・学習状況調査では、「地域や社会をよくしたい」と回答した生徒が77ポイントで、昨年度（R5年度3年）調査よりも20ポイント高い結果となりました。コロナ禍が明け、昨年度から本格的に再開された地域行事に本校生徒が積極的に参加している成果が現れています。今後も引き続き地域と連携しながら、地域や社会に対する関心を高めていく指導をしていきます。